

審 議 会 会 議 録

会議名称	第2回 再生可能エネルギー導入戦略検討委員会（伊達市環境審議会）		
議 題	■議事（2件） 伊達市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に対する市民意見の公募（パブリックコメント）結果について 答申（案）について		
開催日時	令和6年4月24日（水）13時30分～14時05分		
場 所	伊達市役所第2庁舎 第1会議室		
出席者	出席委員11名（欠席委員4名） オブザーバー 環境省北海道地方環境事務所1名、胆振総合振興局3名		
	所管部課名	経済環境部環境衛生課 （経済環境部長・環境衛生参事・環境衛生課係長 環境衛生主任 計4名）	
公開 非公開 の 別	■ 公開	傍聴者の人数	1名
	□ 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
1 開 会 ◎事務局より開会宣言及び挨拶			
6 議 事 (1) 伊達市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に対する市民意見の公募（パブリックコメント）結果について (2) 答申（案）について			
<質疑応答> 議事（1）について事務局より説明 ■委員長：サブタイトルについては2案を1つに合わせ、次回委員会にて発表するとなっております。事務局が提示しましたこのサブタイトルで問題ないでしょうか。 また、市民意見の公募についても何かありますでしょうか。 ■委員長：意見なしとして（1）を承認します。続いて議案（2）について事務局より説明をお願いします。 議案（2）について事務局より説明 ■委員長：答申案について意見等ありますでしょうか。 ■委員長：市内の各所で太陽光事業が進んでいるが、地元の企業ではないため伊達市として経済循環ができていない現状だと感じています。こういったことに関しては			

どこが主体的に具体的に行うのでしょうか。そういったことの検討はおそらくこの先になると思いますがわかる範囲で教えてください。

□事務局：伊達市から事業計画を示すような作りとなっていないことから、建設する企業にて事業計画を作成し当市へ相談・審査・建設の流れとなっています。そして企業には地元住民への説明を行ってから事業を開始するよう伝えています。

■委員：どの事業に関してもまずは市役所に連絡が入ると考えてよいですか。

□事務局：手続きをどうしたらよいのかも含めて市役所へ連絡が入っています。

■委員：太陽光発電の耐久年数は20年前後とされています。20年後に発電しなくなったものはおそらく撤去されずそのまま放置されると思うのですが、処分方法などの確約などはあるのでしょうか。

□事務局：処分方法や怠った場合の罰則等の規定が現在はないため検討する必要があると考えています。

■委員：40ページのような具体的なイメージを市民へ周知できればわかりやすくなると思います。

■委員：ソーラーパネルに関してのガイドラインは今後できるのでしょうか。ある場合、市民に周知されていないと感じています。

□事務局：小型風力のガイドラインは既にあります。風力はそれに則り事業していますが、太陽光に関してのガイドラインはまだありません。そのため市民に周知できていないことは申し訳ないと感じています。

■委員：ソーラーと風力の推進方法や建設計画はどこの部署で行っていますか。今後どのように広がっていくのか方針が知りたいです。

□事務局：行政によって建設していないため、民間の事業計画が来て初めて知っているような現状となっています。そのため、行政として設置個所や建設については関与していません。

■委員：今立っているものは高い買取価格によるFIT制度があった5年前くらいに申請していたものであり、今後メガソーラーのような大規模なものは減ってくるのではないかと思います。おそらく家庭において自家消費する方針に切り替わってくると思います。

■委員：北電が率先して買い取りを行っているような見え方になっていますが、実際は国が政策しているFIT制度に基づき仲介役としてお金を代わりに北電が支払っているイメージとなっています。

■委員長：本題に戻ります。この内容で明日の答申を行いたいと考えておりますが、皆さんいかがでしょうか。

■委員長：意見がないようですので、答申について承認します。オブザーバーの方からご意見いただきたいと思えます。

□北海道地方環境事務所：政府は 2050 年カーボンニュートラルを掲げていますが、達成にあたっては自治体や区域施策編で定めていただいた事業者の皆様との積極的な取組が必要不可欠です。伊達市においては、産業部門ではカーボンニュートラル・スマート農業、運輸部門ではグリーンスローモビリティの導入といったようなポジティブな脱炭素計画を掲げています。一般的には環境問題対策は、我慢の施策といったイメージがあると思えますが、今後は皆さんの生活向上の上で成り立っていくものだと考えています。また、事業の実行にあたり、各種補助金を取り揃えておりますので有効活用してほしいと思えます。

□胆振総合振興局：この計画がスタートであることから、これから計画を実行するうえで市民の皆様への周知方法を考え、一体となって取り組んでいきたいと思えます。若年層向けゼロカーボンカレッジを行っています。伊達市はゼロカーボン推進において重要な地域であると考えています。ゴールは一緒であると考えておりますので連携し共に頑張りましょう。

7 その他

□事務局：本日の審議を踏まえ、松本委員長、佐藤副委員長と事務局にて、明日 4 月 25 日の午前 9 時から市長に答申いたします。

また、当委員会はこの度、審議されました計画書が策定された日をもって解散することとなります。策定は 5 月 1 日を予定しています。ご多忙のところご審議いただき心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

8 閉会